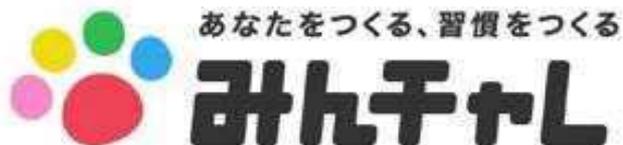


款	項	目	担当部局・課名																													
4	1	1	福祉保健部健康推進課																													
事業区分		継続事業 (拡充)		政策 1 健康で安心感のある暮らし																												
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)																											
健康診断事業			①	委 託 料	①業務委託料 (物件費)	66,693																										
			②																													
			③																													
			④																													
実施計画No,		⑤																														
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →			66,693																											
該当ページ	118 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →			626																											
	119 /頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →			67,319																											
歳入に関する 項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)																										
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他																											
令和 8 年度	67,319	336	1,928		58,200	6,855																										
(予定) 特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称																														
	国庫支出金	疾病予防対策事業費補助金																														
	県支出金	健康増進事業費補助金																														
	負担金	後期高齢者医療健康診査事業費補助金 地域振興基金																														
事業内容 及びその目的 (めざすもの)	市民の基本健診・がん検診, 人間ドック実施と疾病早期発見のための啓発・健診受診勧奨事業及び節目年齢歯科健診の実施																															
事業の積算根 拠等 (詳細説明) 事業一覧表/ 状況写真/図 面等	●健診 (総合集団健診・人間ドック・個別健診) 委託料 58,773千円																															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>金額</th> <th>項目</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>胃がん (900人)</td> <td>10,170千円</td> <td>心不全検査 (870人)</td> <td>1,824千円</td> </tr> <tr> <td>結核・肺がん (1730人)</td> <td>4,088千円</td> <td>【新】骨密度検査 (250人)</td> <td>460千円</td> </tr> <tr> <td>大腸がん (2400人)</td> <td>4,236千円</td> <td>基本健診 (650人)</td> <td>6,820千円</td> </tr> <tr> <td>乳がん (780人)</td> <td>4,276千円</td> <td>会場運営・データ作成事務費</td> <td>3,540千円</td> </tr> <tr> <td>子宮頸がん (630人)</td> <td>3,108千円</td> <td>後期高齢者人間ドック (600人)</td> <td>18,480千円</td> </tr> <tr> <td>肝炎 (220人)</td> <td>726千円</td> <td>健康管理システム改修費</td> <td>1,045千円</td> </tr> </tbody> </table>					項目	金額	項目	金額	胃がん (900人)	10,170千円	心不全検査 (870人)	1,824千円	結核・肺がん (1730人)	4,088千円	【新】骨密度検査 (250人)	460千円	大腸がん (2400人)	4,236千円	基本健診 (650人)	6,820千円	乳がん (780人)	4,276千円	会場運営・データ作成事務費	3,540千円	子宮頸がん (630人)	3,108千円	後期高齢者人間ドック (600人)	18,480千円	肝炎 (220人)	726千円	健康管理システム改修費
項目	金額	項目	金額																													
胃がん (900人)	10,170千円	心不全検査 (870人)	1,824千円																													
結核・肺がん (1730人)	4,088千円	【新】骨密度検査 (250人)	460千円																													
大腸がん (2400人)	4,236千円	基本健診 (650人)	6,820千円																													
乳がん (780人)	4,276千円	会場運営・データ作成事務費	3,540千円																													
子宮頸がん (630人)	3,108千円	後期高齢者人間ドック (600人)	18,480千円																													
肝炎 (220人)	726千円	健康管理システム改修費	1,045千円																													
別添資料	●その他健診事務費 626千円 内訳 普通旅費 121千円 消耗品費 50千円 印刷製本費 134千円 通信運搬費 142千円 手数料 176千円 土地借上料 3千円																															
	●予約システム改修経費 委託料 3,058千円																															
無	●節目年齢歯科健診 委託料 4,862千円																															
(一覧表/ 図面等)	5,720円×850人 (対象者5,000人×17%)																															
継続事業> 過去実績を検証して, 変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または, 継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)																																
健康増進法第19条の2に基づき健診を実施する。令和8年度より,40歳以上70歳以下の節目年齢の女性を対象とする骨密度健診を新たに実施する。早期に骨量減少者を発見し,骨粗鬆症を予防することを目的とする。																																

款	項	目	担当部局・課名																										
4	1	1	福祉保健部健康推進課																										
事業区分		継続事業		政策 1 健康で安心感のある暮らし																									
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)																								
休日夜間急患センター運営事業			① 委託料	①業務委託料 (物件費)	30,000																								
実施計画No,			2	②																									
* 三次市予算に関する説明書				③																									
該当ページ			118 / 頁	④																									
		119 / 頁	⑤																										
			⑥ (①~⑤の計) →		30,000																								
			⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →		0																								
			⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		30,000																								
歳入に関する項目	予算額 (千円)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)																							
	(⑧)	国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他																								
令和 8 年度	30,000				30,000	0																							
(予定) 特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称																											
	国庫支出金																												
	県支出金																												
	負担金	過疎地域持続的発展基金繰入金																											
事業内容及びその目的 (めざすもの)	休日及び夜間における急病かつ軽症の患者に対し、初期救急診療を行うため、三次市休日夜間急患センターを設置し、運営を三次地区医師会に委託している。休日・夜間に安心して受診できる救急医療体制の維持を目的としている。																												
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/ 状況写真/図 面等	<p>診療日及び診療時間 (内科のみ)</p> <p>夜間 (毎日) 午後 6 時~午後 10 時</p> <p>昼間 (休日※) 午前 9 時~午後 5 時</p> <p>(※休日: 日曜日, 祝日, 8月14日~16日, 12月29日から翌年1月3日)</p> <p>業務委託料 30,000 千円 (運営費)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7(見込)</th> <th>R8 (計画)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受診者数</td> <td>1,167</td> <td>1,267</td> <td>1,761</td> <td>1,813</td> <td>1,977</td> <td>1,341</td> <td>1,900</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>40,000</td> <td>38,111</td> <td>27,319</td> <td>27,007</td> <td>27,965</td> <td>35,000</td> <td>30,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和4年4月より外科を休止した。</p>					年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7(見込)	R8 (計画)	受診者数	1,167	1,267	1,761	1,813	1,977	1,341	1,900	委託料	40,000	38,111	27,319	27,007	27,965	35,000	30,000
年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7(見込)	R8 (計画)																						
受診者数	1,167	1,267	1,761	1,813	1,977	1,341	1,900																						
委託料	40,000	38,111	27,319	27,007	27,965	35,000	30,000																						
別添資料	無 (一覧表/ 図面等)																												
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)																													
比較的軽症な患者に対応する「休日夜間急患センター」を設置することで、中等症から重症の救急患者に対応する市立三次中央病院の2次救急のひっ迫を避けることができ、市民の安全・安心な暮らしづくりに貢献している。																													

款	項	目																										
4	1	1	担当部局・課名	福祉保健部健康推進課																								
事業区分		新規事業		政策 1 健康で安心感のある暮らし																								
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)																							
ウォーキング・社会貢献事業			①	委託料	①業務委託料 (物件費)	5,500																						
			②																									
			③																									
			④																									
実施計画No,		1	⑤																									
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →			5,500																							
該当ページ		120 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →			0																						
		121 /頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →			5,500																						
歳入に関する 項目	予算額 (千円) (⑨)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)																						
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他																							
令和 8 年度	5,500	2,750			710	2,040																						
(予定) 特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称																										
	国庫支出金	地域未来交付金																										
	県支出金																											
	負担金	地域福祉基金繰入金																										
事業内容 及びその目的 (めざすもの)	・5人1組のスマートフォンを使ったデジタルピアサポートによる運動 (歩数) の習慣化と、付与されたポイント (コイン) を社会貢献活動に寄附できる仕組みの構築。 ・運動習慣が少ない働く世代に届く仕組みや、高齢者のデジタルデバイドの解消による健康格差の縮小、歩数の増加による将来医療費の抑制と社会貢献の好循環を図る。																											
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/ 状況写真/図 面等	委託料 5,500,000円 導入予定アプリ: 「みんなチャレ」 エーテラボ株式会社 (スタートアップ企業) 【委託内容】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #f4a460;">項目</th> <th style="background-color: #f4a460;">金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>初期開発経費及び導入時サポート費</td> <td>1,962,400円</td> </tr> <tr> <td>アプリケーション運営費</td> <td>919,600円</td> </tr> <tr> <td>高齢者向操作支援講座, 継続促進イベント開催</td> <td>936,800円</td> </tr> <tr> <td>地域寄附プロジェクト企画開発アプリ内ページ作成</td> <td>61,600円</td> </tr> <tr> <td>参加者拡大・継続イベント企画開催</td> <td>550,000円</td> </tr> <tr> <td>コールセンター設置</td> <td>132,000円</td> </tr> <tr> <td>啓発ポスター・チラシ作成 (デザイン・印刷)</td> <td>270,000円</td> </tr> <tr> <td>アプリ操作支援講師育成研修</td> <td>140,800円</td> </tr> <tr> <td>消費税</td> <td>497,320円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td>5,470,520円</td> </tr> </tbody> </table>						項目	金額	初期開発経費及び導入時サポート費	1,962,400円	アプリケーション運営費	919,600円	高齢者向操作支援講座, 継続促進イベント開催	936,800円	地域寄附プロジェクト企画開発アプリ内ページ作成	61,600円	参加者拡大・継続イベント企画開催	550,000円	コールセンター設置	132,000円	啓発ポスター・チラシ作成 (デザイン・印刷)	270,000円	アプリ操作支援講師育成研修	140,800円	消費税	497,320円	計	5,470,520円
項目	金額																											
初期開発経費及び導入時サポート費	1,962,400円																											
アプリケーション運営費	919,600円																											
高齢者向操作支援講座, 継続促進イベント開催	936,800円																											
地域寄附プロジェクト企画開発アプリ内ページ作成	61,600円																											
参加者拡大・継続イベント企画開催	550,000円																											
コールセンター設置	132,000円																											
啓発ポスター・チラシ作成 (デザイン・印刷)	270,000円																											
アプリ操作支援講師育成研修	140,800円																											
消費税	497,320円																											
計	5,470,520円																											
別添資料	【具体的サービス】																											
有	5人1組のチーム型ピアサポートにより行動変容の継続を支援																											
(一覧表/ 図面等)	デジタルに不慣れ層 (高齢者等) には、導入時操作支援講座を2回実施し、スマホの基本操作を習得寄附プロジェクトとを組み合わせ、運動の取組が社会貢献につながる設計により、内発的動機付けを高める																											
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)																												

ウォーキング・社会貢献事業



1人で頑張り
続けるのは大変…



同じ目標を持つ
5人1組のチームに参加



頑張りの証拠を
チームに写真で報告！

市がめざすもの

- ◆ 働く世代の運動の習慣化
- ◆ 高齢者のデジタルデバイドの解消
- ◆ 歩数の増加による将来医療費の抑制
- ◆ 寄附プロジェクトで社会貢献

毎日チームにチャレンジ写真を送り、
チームメンバーがOK（承認）すると
コインが獲得できる！



アプリを続けてコインを貯める



習慣化チャレンジで貯めたコインを
アプリ内寄付プロジェクトに寄付する



寄付プロジェクトの
目標コイン数が達成
した時に、協賛企業
が寄付を実施！！
→ 寄付実施レポート
をアプリに掲載し、
利用者に報告

- ※1: 寄付原資や物資は協賛企業が提供
- ※2: 寄付プロジェクトは達成可能な目標コイン数で設定するため、達成できないことはありません

1日+1, 500歩で年間約35,000円の医療費抑制効果

一人当たり年間医療費約40万7千円（厚生労働省H26年度40～74歳）

出典：国土交通省歩行量（歩数）調査のガイドラインの概要より

みんなチャレ開始から2年経過時、年間約15,300円の介護費抑制効果

KDB データを活用した評価の結果みんなチャレ20か月使用群と不使用群比較により算出

出典：府中市「みんなチャレ/フレイル予防事業アフトカム評価実証報告書」実証協力：(株)日立製作所

款	項	目					
4	1	1	担当部局・課名		福祉保健部健康推進課		
事業区分		継続事業		政策 1 健康で安心感のある暮らし			
事業名			節名称	細節名称	予算額 (千円)		
ウォーキング・運動事業			①	報酬	④会計年度任用職員報酬	2,667	
			②	職員手当等	⑬一般職期末手当	562	
			③	職員手当等	⑭勤勉手当	473	
			④	旅 費	①費用弁償	20	
			⑤				
実施計画No,							
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) →			3,722	
該当ページ			⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →			260	
			⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →			3,982	
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)		特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和 8 年度	3,982					3,900	82
(予定) 特定財源内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金						
	県支出金						
	負担金		地域振興基金				
事業内容及びその目的 (めざすもの)		市民の運動習慣定着のためのウォーキング・運動事業や各種健康講座に有資格者を派遣し、生活習慣病予防、フレイル予防を含めた健康づくりを行い、健康寿命の延伸を図る。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等		<p>健康運動インストラクター (健康運動指導士) 1 名人件費 3,722,000円 (通勤手当相当分費用弁償含む)</p> <p>修繕費 運動機器 ウォーキングコースサイン修繕 150,000円</p> <p>業務委託料 三川合流部ウォーキングコース草刈 110,000円</p> <p style="text-align: right;">3,982,000円</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>施工前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>施工後</p> </div> </div>					
別添資料		無					
		(一覧表/図面等)					
<p>継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)</p> <p>三次市健康づくり推進計画のもと、市民の運動習慣の定着を図るため「健康運動指導士」の有資格者を雇用し、専門的知見を活かした事業を継続する。</p>							

款	項	目	担当部局・課名			
4	1	1	福祉保健部健康推進課			
事業区分		新規事業		政策 1 健康で安心感のある暮らし		
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)	
国民健康保険診療所運営検討委員会			① 報 償 費	⑤その他報償費	240	
実施計画No,			②			
			③			
			④			
* 三次市予算に関する説明書		⑤	⑥ (①~⑤の計) →		240	
該当ページ	258 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →				
	259 /頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →			240	
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和8年度	240					240
(予定) 特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金					
事業内容及びその目的 (めざすもの)	学識経験者等による「三次市国民健康保険診療所運営検討委員会」を開催し、市が運営する5か所の診療所の今後の持続可能な運営についての検討・提言を行う。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/ 状況写真/図 面等	<p>報償費 20,000円×4名×3回 = 240,000円</p> <p>委員会開催時期 7月 11月 2月 計3回 (令和8年3月に第1回委員会開催済み)</p> <p>委員構成 三次地区医師会長 市立三次中央病院病院長 広島県国民健康保険診療施設協議会副会長 医業コンサルタント職員 三次市副市長</p>					
別添資料	無 (一覧表/ 図面等)					
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						

款	項	目	担当部局・課名			
4	1	1	福祉保健部健康推進課			
事業区分		継続事業		政策 1 健康で安心感のある暮らし		
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)	
医師育成奨学金貸付事業			① 貸付金	①貸付金	3,400	
実施計画No,			②			
			③			
			④			
* 三次市予算に関する説明書		⑤				
該当ページ		118 / 頁	⑥ (①~⑤の計) →		3,400	
		119 / 頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	
			⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		3,400	
歳入に関する項目	予算額 (千円)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
	(⑧)	国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和8年度	3,400					3,400
(予定) 特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金					
事業内容及びその目的 (めざすもの)	医学生に奨学金を貸付け、医師免許取得後9年間三次市内の医療機関で診療に従事した場合、その返還を免除するもので、長期的視点に立った医師確保対策を目的とする。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/ 状況写真/図 面等	貸付金： 入学支度金 1,000,000 円 (入学年度のみ) 奨学金 2,400,000 円 (月額 200,000円) <hr/> 3,400,000 円 貸付金合計 (6年間) 15,400,000 円					
別添資料	無 (一覧表/ 図面等)					
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						
昨今の医学部入試は難化が著しく、令和3年度の制度創設以来、採択の実績はないが、進路指導の資料として活用いただけるよう三次市内小中高校への案内配布や健康福祉まつりでのPRを行った。引き続き、地域医療に貢献する医師を志す学生を支援し、長期的視点に立ち将来的な地域医療の確保を図る。						

款	項	目	担当部局・課名											
4	1	4	福祉保健部健康推進課											
事業区分		継続事業		政策 1 健康で安心感のある暮らし										
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)									
新型コロナワクチン予防接種費用助成事業			① 委託料	①業務委託料 (物件費)	55,124									
			② 扶助費	①扶助費	2,324									
			③ 需用費	④印刷製本費	256									
			④ 役務費	④手数料	488									
実施計画No,		⑤												
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →			58,192									
該当ページ	122 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →			0									
	123 /頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →			58,192									
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)								
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他									
令和 8 年度	58,192	2,324			55,868									
(予定) 特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称												
	国庫支出金	予防接種健康被害給付金負担金												
	県支出金													
	負担金													
事業内容及びその目的 (めざすもの)	○令和6年10月から定期接種B類に位置付けられた高齢者を対象とした新型コロナワクチン接種への助成 ○新型コロナワクチン接種に伴う健康被害が認められた方への医療費医療手当給付													
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/ 状況写真/図 面等	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>公費負担</th> <th>自己負担</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>65歳以上(特定の障害を有する60~64歳含む)</td> <td>10,900</td> <td>4,700</td> </tr> <tr> <td>〃 (生活保護受給者)</td> <td>15,600</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>						公費負担	自己負担	65歳以上(特定の障害を有する60~64歳含む)	10,900	4,700	〃 (生活保護受給者)	15,600	0
		公費負担	自己負担											
65歳以上(特定の障害を有する60~64歳含む)	10,900	4,700												
〃 (生活保護受給者)	15,600	0												
別添資料	● 予防接種委託料 55,124千円 接種対象人数17,661人×接種率想定28%=5,000人 54,500,000 円 生活保護受給者接種想定 40人 624,000 円 <hr/> 55,124,000 円 ● 扶助費 予防接種健康被害給付金 2,324千円 医療手当・医療費給付 47,900円×12月×3人+49,900円×12月×1人=2,323,200円 ● 印刷製本費 256千円 説明書・予診票・接種券 各13,000枚 255,450円 ● 審査支払手数料 488千円 国保連合会 96.76円×5,040件=487,670円													
無 (一覧表/ 図面等)														
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または, 継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)														
予防接種法に基づき定期接種となっているため、令和8年度も継続														

款	項	目	担当部局・課名																							
4	1	4	福祉保健部健康推進課																							
事業区分		継続事業		政策1 健康で安心感のある暮らし																						
事業名			節名称	細節名称	予算額 (千円)																					
帯状疱疹ワクチン予防接種助成事業			①	委託料 ①業務委託料 (物件費)	18,995																					
			②	役務費 ①通信運搬費	328																					
			③	役務費 ④手数料	192																					
			④	需用費 ④印刷製本費	59																					
			⑤																							
実施計画No,																										
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) →		19,574																					
該当ページ			⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →		0																					
			⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		19,574																					
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)		特定財源内訳 (千円)			一般財源 (千円)																				
			国庫支出金	県支出金	市債		負担金等その他																			
令和8年度	19,574					19,574																				
(予定) 特定財源内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称																							
	国庫支出金																									
	県支出金																									
	負担金																									
事業内容及びその目的 (めざすもの)		令和7年4月から定期接種B類となった高齢者対象の帯状疱疹ワクチン接種に対する助成																								
事業の積算根拠等	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th></th> <th>公費負担</th> <th>自己負担</th> <th>接種回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">組換えワクチン</td> <td>65歳, 70歳, 75歳…100歳</td> <td>22,120</td> <td>22,000</td> <td rowspan="2">2回</td> </tr> <tr> <td>〃 (生活保護受給者)</td> <td>44,120</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">生ワクチン</td> <td>65歳, 70歳, 75歳…100歳</td> <td>4,460</td> <td>4,400</td> <td rowspan="2">1回</td> </tr> <tr> <td>〃 (生活保護受給者)</td> <td>8,860</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>							公費負担	自己負担	接種回数	組換えワクチン	65歳, 70歳, 75歳…100歳	22,120	22,000	2回	〃 (生活保護受給者)	44,120	0	生ワクチン	65歳, 70歳, 75歳…100歳	4,460	4,400	1回	〃 (生活保護受給者)	8,860	0
			公費負担	自己負担	接種回数																					
組換えワクチン	65歳, 70歳, 75歳…100歳	22,120	22,000	2回																						
	〃 (生活保護受給者)	44,120	0																							
生ワクチン	65歳, 70歳, 75歳…100歳	4,460	4,400	1回																						
	〃 (生活保護受給者)	8,860	0																							
(詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<ul style="list-style-type: none"> ● 予防接種委託料 18,995千円 接種対象人数3,854人×接種率想定31.4%=1,210人 (組換えワクチン770人, 生ワクチン440人) 組換えワクチン 11,060円×770人×2回=17,032,400円 生ワクチン 4,460円×440人=1,962,400円 計18,994,800円 ● 通信運搬費 328千円 勸奨通知 85円×3,854人=327,590円 ● 審査支払手数料 192千円 																									
別添資料	国保連診査支払手数料 96.76円×1,980件=191,585円																									
無	● 印刷製本費 59千円 説明書・予診票・接種券 各3,000枚=58,950円																									
(一覧表/図面等)																										
継続事業> 過去実績を検証して, 変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または, 継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)																										
予防接種法に基づき定期接種となっているため, 令和8年度も継続																										

款	項	目	担当部局・課名			
3	1	1	福祉保健部社会福祉課			
事業区分		継続事業		政策 1 健康で安心感のある暮らし		
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)	
生活サポートセンター支援事業			① 委託料	①業務委託料 (物件費)	12,000	
実施計画No,			9	②		
* 三次市予算に関する説明書				③		
該当ページ			84 / 頁	④		
		85 / 頁	⑤			
			⑥ (①~⑤の計) →		12,000	
			⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →			
			⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		12,000	
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和 8 年度	12,000	9,000			3,000	
(予定) 特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金	生活困窮者自立相談支援事業費等負担金				
	県支出金					
	負担金					
事業内容及びその目的 (めざすもの)	生活困窮者自立支援法に基づき、経済的に困窮し最低限度の生活を維持できなくなるおそれのある世帯等の相談に応じ、具体的な支援計画を作成し、自立に向けた支援を行うもの。 事業は、生活困窮者自立相談支援機関である「三次市生活サポートセンター」事業を三次市社会福祉協議会に委託し実施する。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/ 状況写真/図 面等	<p>○ 生活困窮者自立支援事業 (12,000千円)</p> <p>生活困窮者自立相談支援機関である「三次市生活サポートセンター」の運営に係る委託料</p> <p>人件費 10,213千円</p> <p>事務経費 1,787千円</p> <p>≪参考≫ R7年度相談, 計画件数 (令和 8 年 1 月末現在)</p> <p>相談受付件数 333件</p> <p>計画作成件数 2件</p> <p>長期的な支援に繋げる計画作成件数は少ないが、相談内容から、就労の課題、経済的な課題を把握し、関係機関や市へ引き継ぐことで、自立に向けた支援を行っている。</p> <p>また、その後も相談体制を築き、いつでも相談できるように窓口として、必要に応じて継続的な対応を行っている。</p>					
別添資料	無					
	(一覧表/ 図面等)					
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						
生活困窮者自立支援法に基づき、経済的に困窮し最低限度の生活を維持できなくなるおそれのある人の相談に応じ、自立に向けた支援を行う面で効果は大きく、継続した事業として実施する必要がある。 三次市社会福祉協議会に「三次市生活サポートセンター」事業を委託し、相談体制を確立していく。						

款	項	目	担当部局・課名			
3	1	1	福祉保健部社会福祉課			
事業区分		継続事業		政策 1 健康で安心感のある暮らし		
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)	
生活困窮者住居確保事業			① 扶 助 費	①扶助費	1,500	
			②			
			③			
			④			
実施計画No,		⑤				
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →			1,500	
該当ページ		84 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	
		85 /頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		1,500	
歳入に関する 項目	予算額 (千円) (⑨)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和 8 年度	1,500	1,125			375	
(予定) 特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金	生活困窮者自立相談支援事業費負担金				
	県支出金					
	負担金					
事業内容 及びその目的 (めざすもの)	離職・廃業等により住居を喪失する恐れのある生活困窮者に対し、就労の機会を確保するため家賃を支給するもの。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/ 状況写真/図 面等	○ 生活困窮者住居確保給付金 (扶助費 : 1,500千円) 就労機会の減少による離職・失業等により住居を失ったり、住居を失うおそれのある生活困窮者に対し、住居の家賃相当額を支給し、就労機会の確保に向けた支援を行う。 【給付基準】 離職・廃業により収入が減少し生活困窮した者 (生活困窮の基準は生活保護に準ずる) ただし、ハローワークを通じて、求職活動を行っていることが条件 【給付金額】 ① 生活保護の住宅扶助の基準により、3 カ月を基準に家賃を補助 単身 : 33,000円, 2人世帯 : 40,000円 以下, 世帯員の増加により増額 ② 居住確保に係る引っ越し費用 (R7年度から新設) ①の金額の3倍の金額を経費として支給 【R7年度実績】 上記①, ②とも申請は0件 (R8.1月末現在) → コロナ禍を過ぎ、就労機会の確保のための住宅家賃の支援が必要な方が減少したと思われる。 (参考) R5年度, R6年度においても実績は0件					
	別添資料	無				
(一覧表/ 図面等)						
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						
コロナ禍を過ぎ、就労機会の確保のための住宅家賃の支援が必要な方が減少している状況にある。しかし、収入は増加しないため、生活困窮となっているケースも多い。生活保護受給という考えもあるが、申請前の支援を行うことで、自立した生活の維持を営むための支援として制度の継続は必要と考える。						

款	項	目	担当部局・課名			
3	1	2	福祉保健部社会福祉課			
事業区分		継続事業		政策 1 健康で安心感のある暮らし		
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)	
障害者計画策定事業			① 報 償 費	① 委員等謝礼	663	
			② 役 務 費	① 通信運搬費	11	
			③ 委 託 料	① 業務委託料 (物件費)	1,500	
			④			
実施計画No,		⑤				
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →			2,174	
該当ページ	86 / 頁	⑦ その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →				
	87 / 頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →			2,174	
歳入に関する 項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和 8 年度	2,174				2,174	
(予定) 特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金					
事業内容 及びその目的 (めざすもの)	令和8年度で期間が終了する第3期障害者福祉計画, 第7期障害福祉計画, 第3期障害児福祉計画の更新を行う。					
事業の積算根 拠等 (詳細説明) 事業一覧表/ 状況写真/図 面等	○ 三次市障害者計画策定策定事業 計画の目的: 障害のある人一人ひとりが地域の一員として尊重され, 安心して自立した生活を送ることができる地域社会の実現のために, 本市における障害福祉施策の基本的な方向性を定め, 必要な施策を着実に推進していくことを目的とする。 計画期間: 令和9年度~令和14年度 計画の策定体制 (案) ・三次市障害者計画策定審議会等による検討・審議 ・障害のある人, 家族, 市民, 障害サービス事業者等へのヒアリングの実施 ・パブリック・コメントの実施					
	別添資料	無 (一覧表/ 図面等)				
継続事業> 過去実績を検証して, 改善・工夫した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または, 継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果大きい, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						
計画策定には, 2か年かけて取り組んでる。 令和7年度にはアンケート調査を実施。令和8年度で, アンケートの分析を加味し, 策定を完了する。						

款	項	目	担当部局・課名			
3	1	2	福祉保健部社会福祉課			
事業区分		継続事業		政策 1 健康で安心感のある暮らし		
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)	
地域生活支援拠点等整備事業			①	委託料	①業務委託料 (物件費)	2,346
			②			
			③			
			④			
		⑤				
実施計画No,						
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) →		2,346	
該当ページ	86 / 頁	⑦ その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →			0	
	87 / 頁	⑧ (⑥ + ⑦) 事業合計額 →			2,346	
歳入に関する 項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和 8 年度	2,346	621	310			1,415
(予定) 特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金	地域生活支援事業費等補助金				
	県支出金	地域生活支援事業費等補助金				
	負担金					
事業内容 及びその目的 (めざすもの)	障害者の高齢化や重度化, 親亡き後を見据え, 障害者やその家族の緊急事態に対応する体制を整備することにより, 地域での生活を支援することを目的とする。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/ 状況写真/図 面等	<p>○地域生活支援拠点事業委託料 402千円</p> <p>障害者が地域で安心して暮らしていくための居住支援等の体制整備として, 市内障害福祉サービス事業所による緊急時の相談支援や受入支援を実施。支援を実施した際に委託料を支給。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急時相談支援 110,100円 (7,340円×15日) ・緊急時受入支援 291,900円 (9,730円×30日) <p>R6実績: 0件, R7件数: 0件 (令和8年1月末現在)</p> <p>※ 緊急時に施設利用が必要な場合, まずは短期入所サービス等, 他の制度を利用される方が多い。日頃の利用を通して, 相談支援専門員や事業所が, 当該利用者や家族と関係を築き対応いただいているためと分析している。</p> <p>○緊急短期入所居室確保事業委託料 1,944千円 (6,480円×300日 (未利用日数))</p> <p>介護者の疾病などにより, 緊急的に居家で介護を受けられない障害者等を一時的に受け入れるため, 常時, 短期入所事業所の1床を確保し, 緊急時に備える事業を委託により実施。確保期間においてサービス利用として請求しない日数に対し, 空床補償分を支給。</p>					
別添資料		空床	金額	備考		
無		R6実績 260日	1,684,800円	(利用分) 5名, 105日		
(一覧表/ 図面等)		R7上半期 169日	1,095,120円	(利用分) 1名, 14日		
継続事業> 過去実績を検証して, 変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または, 継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						
障害者が地域で安心して生活していく体制づくりとして, 緊急的な対応を図るため, 関係機関や相談支援事業所を通じて, 対象と思われる方や家族へ啓発, 周知をしている。現状として, 他制度から活用をする方も多いが, サービス未利用者の対応も視野に入れ, 今後も継続して周知, 啓発を行うとともに体制整備に向けて事業実施をしていく必要がある。						

款	項	目	担当部局・課名			
3	1	2	福祉保健部社会福祉課			
事業区分		継続事業		政策 1 健康で安心感のある暮らし		
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称		予算額 (千円)	
障害者支援センター事業			①	委託料	①業務委託料 (物件費)	37,000
実施計画No,			②			
7			③			
			④			
* 三次市予算に関する説明書		⑤				
該当ページ		⑥ (①~⑤の計) →			37,000	
88 / 頁		⑦ その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →				
89 / 頁		⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →			37,000	
歳入に関する 項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和 8 年度	37,000	6,923	3,461			26,616
(予定) 特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金	地域生活支援事業費等補助金				
	県支出金	地域生活支援事業費等補助金				
	負担金					
事業内容 及びその目的 (めざすもの)	障害者及び障害児が地域で自立した日常生活及び社会生活を営むことが出来るよう、日常生活や福祉サービスの利用などの総合相談支援を実施する。また、基幹相談支援センターとして、関係機関との連携や社会資源を活用、虐待などに対する早期支援などを実施する。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/ 状況写真/図 面等	○障害者支援センター運営業務委託料 37,000千円 委託料内訳 職員人件費・事業実施経費 等 業務内容 (1) 基幹相談支援センターに関すること ① 計画相談支援 (サービス等利用計画) に関する相談・指導に関すること ② 専門機関との連携に関すること ③ 社会資源の開発に関すること ④ 障害者虐待防止、権利擁護に関すること ⑤ 障害者支援協議会及び三次市障害者支援ネットワーク連絡会議に関すること ⑥ 障害者差別解消法に関すること ⑦ 地域生活支援拠点等整備事業について (2) 総合相談支援に関すること ① 社会生活力を高めるための支援に関すること ② ピア・サポーターの育成に関すること ③ ボランティアの活用と育成支援に関すること ④ 家族及び障害者等の関係団体の支援に関すること ⑤ 24時間電話相談に関すること (3) 障害支援区分認定調査に関すること					
別添資料	無					
(一覧表/ 図面等)						
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						
三次市社会福祉協議会を委託先として事業を継続している。 障害者支援センターの位置づけは『基幹相談支援センター』としており、地域における相談支援の拠点として総合的な支援業務や社会資源の開発などを業務の内容としている。また、障害者虐待等の窓口となり対応にあっている。						

款	項	目	担当部局・課名																																										
3	1	2	福祉保健部社会福祉課																																										
事業区分		継続事業		政策1 健康で安心感のある暮らし																																									
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称		細節名称	予算額 (千円)																																							
障害者福祉タクシー等利用助成事業			①	扶 助 費	①扶助費	17,000																																							
			②																																										
			③																																										
			④																																										
実施計画No,		8	⑤																																										
* 三次市予算に関する説明書				⑥ (①~⑤の計) →	17,000																																								
該当ページ		88 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →		278																																								
		89 /頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		17,278																																								
歳入に関する 項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)																																							
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他																																								
令和8年度	17,278				17,000	278																																							
(予定) 特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称																																											
	国庫支出金																																												
	県支出金																																												
	負担金	ふるさと創生基金繰入金																																											
事業内容 及びその目的 (めざすもの)	障害者等の社会参加の促進を図ることを目的として、タクシー料金又は自動車燃料費の一部を助成する。																																												
事業の積算根 拠等 (詳細説明) 事業一覧表/ 状況写真/図 面等	<p>○ 障害者福祉タクシー等利用助成事業</p> <p>令和7年度から毎年7月に交付開始するように制度を改正 (利用期間：当年7月1日から翌年度6月30日) …タクシー券自動車燃料券共通</p> <p>≪参考≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 制度改正に伴う予算について <p>R7年度 令和7年7月1日から令和8年6月30日までを期間として、令和7年度分の利用券を発行。 令和8年4月から6月までの3か月分については、債務負担行為で対応している。 なお、対象要件、交付枚数等は変更なし。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設入所者及び市民税課税者を対象から除外 ・ タクシー券と自動車燃料券を選択制とし、自動車燃料券はタクシー券の1/2を基本とした。 <p>R8年度 令和8年7月1日から令和9年6月30日までを期間として、令和8年度分の利用券を発行予定。 令和9年4月から6月までの3か月分については、債務負担行為として計上している。</p> <p>【利用実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">年度 利用別</th> <th colspan="4">令和6年度交付分</th> <th colspan="2">令和7年度交付分</th> </tr> <tr> <th colspan="2">R6.4~R7.3末</th> <th colspan="2">R7.4~R7.6</th> <th colspan="2">R7.7~R8.1末現在</th> </tr> <tr> <th>利用枚数</th> <th>実績額</th> <th>利用枚数</th> <th>実績額</th> <th>利用枚数</th> <th>実績額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>タクシー券</td> <td>14,265枚</td> <td>7,132,500円</td> <td>2,191枚</td> <td>1,095,500円</td> <td>8,106枚</td> <td>4,053,000円</td> </tr> <tr> <td>燃料券</td> <td>16,144枚</td> <td>8,072,000円</td> <td>1,899枚</td> <td>949,500円</td> <td>9,536枚</td> <td>4,768,000円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>30,409枚</td> <td>15,204,500円</td> <td>4,090枚</td> <td>2,045,000円</td> <td>17,642枚</td> <td>8,821,000円</td> </tr> </tbody> </table>					年度 利用別	令和6年度交付分				令和7年度交付分		R6.4~R7.3末		R7.4~R7.6		R7.7~R8.1末現在		利用枚数	実績額	利用枚数	実績額	利用枚数	実績額	タクシー券	14,265枚	7,132,500円	2,191枚	1,095,500円	8,106枚	4,053,000円	燃料券	16,144枚	8,072,000円	1,899枚	949,500円	9,536枚	4,768,000円	合 計	30,409枚	15,204,500円	4,090枚	2,045,000円	17,642枚	8,821,000円
	年度 利用別	令和6年度交付分					令和7年度交付分																																						
R6.4~R7.3末		R7.4~R7.6		R7.7~R8.1末現在																																									
利用枚数		実績額	利用枚数	実績額	利用枚数	実績額																																							
タクシー券	14,265枚	7,132,500円	2,191枚	1,095,500円	8,106枚	4,053,000円																																							
燃料券	16,144枚	8,072,000円	1,899枚	949,500円	9,536枚	4,768,000円																																							
合 計	30,409枚	15,204,500円	4,090枚	2,045,000円	17,642枚	8,821,000円																																							
別添資料	無																																												
(一覧表/ 図面等)																																													
<p>継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)</p> <p>令和7年度から、券の有効期間を見直し、交付時の混乱や当該年度の課税状況による審査等をわかりやすく改善している。 令和3年度以降の要件等の改正後も利用状況は大きく変化しておらず、障害者の社会参加促進や経済負担の削減として、引き続き、本事業を継続することで、社会参加の促進効果が大いと捉えており、事業の継続は必要であるとする。</p>																																													

款	項	目				
2	1	1				
3	1	3	担当部局・課名	福祉保健部高齢者福祉課		
事業区分		継続事業（拡充）		政策 1 健康で安心感のある暮らし		
事業名			節名称	細節名称	予算額（千円）	
三次市第 1 1 期高齢者保健福祉計画・第 1 0 期介護保険事業計画策定事業			事業 (経費) 内の主 たる費 目	① 給 料	③会計年度任用職給	1,558
				② 職員手当等	②地域手当	63
				③ 職員手当等	⑬一般職期末手当, ⑭勤勉手当	849
				④ 報 償 費	①委員等謝礼	164
				⑤ 需 用 費	①消耗品費, ④印刷製本費	545
実施計画No,						
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) →			3,179
該当ページ			⑦その他の節など（上記以外）の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →			54
			⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →			3,233
歳入に関する項目	予算額（千円） (⑧)	特定財源内訳（千円）				一般財源（千円）
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和 8 年度	3,233	0	0	0	0	3,233
(予定) 特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金					
事業内容及びその目的 (めざすもの)	介護保険事業計画は 3 年を 1 期として定めるものとされており、令和 8 年度は次期（令和 9 ～ 1 1 年度）計画の策定年度である。 高齢者の健康と福祉の増進を図るための「高齢者保健福祉計画」と、介護保険事業に係る保険給付の円滑な実施を図るための「介護保険事業計画」を一体的な計画として策定することで、高齢者の保健福祉施策の総合的な推進を図る。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/ 状況写真/図 面等	<p>○給料 1,558千円 介護保険事業計画策定事務員 (会計年度任用職給) 1,558,000円</p> <p>○職員手当等 912千円 介護保険事業計画策定事務員 (地域手当) 63,000円 (一般職期末手当) 461,000円 (勤勉手当) 388,000円</p> <p>○報償費(委員等謝礼) 164千円 事業計画策定審議会委員謝礼 7,800円×7名×3回</p> <p>○需用費 545千円 (消耗品費) 10,000円 (印刷製本費) 535,000円</p> <p>○役務費(通信運搬費) 54千円 「介護保険事業計画アンケート調査」に係る発送及び回収用郵送料 計画書冊子 郵送料</p>					
別添資料	無					
(一覧表/ 図面等)						
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点（ICTの導入、DX等による手続きの簡素化、事業内容見直し、対象者拡大など）または、継続としたその主な理由（要綱等の定め、費用対効果が大い、対象が限定的、地域等との協議に基づく取組など）						
計画策定には、2か年かけて取り組む必要があり、令和7年度の調査結果を加味し、令和8年度中に策定を完了する。						

款	項	目	担当部局・課名			
3	1	3	福祉保健部高齢者福祉課			
事業区分		継続事業		政策 1 健康で安心感のある暮らし		
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)	
高齢者等見守り隊事業 (高齢者等 位置情報提供ツール導入 (実証実 験) を含む)			① 報 償 費	⑤その他報償費	2,100	
			② 需 用 費	①消耗品費	38	
			③ 役 務 費	①通信運搬費, ⑧その他保険料	70	
			④ 委 託 料	①業務委託料 (物件費)	8,792	
実施計画No,		6	⑤			
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) →		11,000	
該当ページ		90 / 頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	
		91 / 頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		11,000	
歳入に関する 項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和 8 年度	11,000	0	0	0	11,000	0
(予定) 特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金	地域福祉基金繰入金				
事業内容 及びその目的 (めざすもの)	概ね75歳以上の一人暮らし高齢者等が、いつまでも住み慣れた地域で住み続けられるよう支援することを目的に、日常生活において見守りが必要な高齢者等を、高齢者等見守り隊 (巡回相談員〔民生委員・児童委員〕・協力員) が訪問をし、安否確認や相談活動等を行う。また、ICTを活用して、行方不明の恐れのある高齢者等の早期発見及び事故防止を確かなものにし、介護者の高齢者等の見守り体制を強化する。					
事業の積算根 拠等 (詳細説明) 事業一覧表/ 状況写真/図 面等	<p>○報償費 (その他報償費) 2,100千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者等見守り隊事業 協力員謝礼 3,500円×12か月×50人分 = 2,100,000円 <p>○需用費 (消耗品費) 38千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者等見守り隊事業 (宛名ラベルなど活動に必要な消耗品の購入費) 25,000円 ・高齢者等位置情報提供ツール導入 (GPSケースなど活動に必要な消耗品の購入費) 13,000円 <p>○役務費 (通信運搬費, その他保険料) 70千円</p> <p>(通信運搬費) 52,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者等見守り隊事業 (居住実態調査通知はがき代, 巡回相談員・協力員事務連絡郵送代) 49,000円 ・高齢者等位置情報提供ツール導入 3,000円 <p>(その他保険料) 18,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者等見守り隊事業 (ボランティア保険) 50人分〔協力員〕 <p>○委託料 (業務委託料 (物件費)) 8,792千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者等見守り隊事業 (民生委員・児童委員協議会への委託料) 8,379,000円 3,500円×12か月×185人 = 7,770,000円 300円×12か月×169人 = 608,400円 (実態調査加算分) ・高齢者等位置情報提供ツール導入 413,000円 設定費用 7,700円×15人 = 115,500円 利用費用 1,650円×15人×12か月 = 297,000円 					
別添資料	無					
(一覧表/ 図面等)						
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						
見守りがあることで、対象高齢者等が安心して暮らせることにつながる。巡回相談員も対象高齢者等の状況を定期的に把握することにより、緊急時にも適切に対応できる。ひとり暮らし高齢者世帯、高齢者のみ世帯が増える中、市民ニーズは非常に高い。また、高齢者等位置情報提供ツール導入については、実証実験を継続することで、更なる実験結果データ等を得る。						

款	項	目	担当部局・課名				
3	1	3	福祉保健部高齢者福祉課				
事業区分		継続事業		政策 1 健康で安心感のある暮らし			
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)		
緊急通報装置給付事業			①	役 務 費	①通信運搬費	32	
			②	扶 助 費	①扶助費	2,393	
			③				
			④				
		⑤					
実施計画No,							
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) →			2,425	
該当ページ	90 / 頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →			0		
	91 / 頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →			2,425		
歳入に関する 項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)	
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他		
令和 8 年度	2,425	0	0	0	0	2,425	
(予定) 特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称					
	国庫支出金						
	県支出金						
	負担金						
事業内容 及びその目的 (めざすもの)	在宅のひとり暮らし高齢者及び重度身体障害者が急病等の緊急時に、消防署へボタンひとつで連絡できる通報装置を給付する事業。高齢者等の不安を解消し、在宅生活の安全及び福祉の向上に資することを目的としている。						
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/ 状況写真/図 面等	<p>○役務費 (通信運搬費) 32千円 決定通知・事務連絡郵送代, 携帯電話代</p> <p>○扶助費 (扶助費) 2,393千円 緊急通報装置の設置費用 82,500円×29台</p> 						
別添資料	無						
	(一覧表/ 図面等)						
<p>継続事業> 過去実績を検証して, 変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または, 継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)</p> <p>消防署へボタンひとつで通報できるため, 高齢者等の在宅生活の不安の解消につながっている。同時に事前に登録している支援者や市役所に通報があったことの連絡が届く仕組みであり, 関係者によるその後の見守りにつながる効果もある。</p>							

款	項	目	担当部局・課名			
3	1	3	福祉保健部高齢者福祉課			
事業区分		継続事業		政策 1 健康で安心感のある暮らし		
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)	
地域医療介護総合確保事業			① 負担金, 補助及び交付金 ⑤補助金 (補助費)		21,253	
実施計画No,			②			
			③			
			④			
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) →		21,253	
該当ページ		92 / 頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	
		93 / 頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		21,253	
歳入に関する 項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和 8 年度	21,253	0	21,253	0	0	
(予定) 特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金	広島県地域医療介護総合確保事業補助金				
	負担金					
事業内容 及びその目的 (めざすもの)	地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律 (平成元年法律第64号) 第 4 条の規定に基づく事業を実施する事業者に対し, その申請に基づき交付し, 市内の介護基盤の整備を図ることを目的とする。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/ 状況写真/図 面等	<p>○負担金, 補助及び交付金 (補助金 (補助費)) 21,253千円 (地域医療介護総合確保事業 (介護施設等整備事業) 補助金)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護職員の宿舎施設整備事業 (施設数) 1 施設 (上限額) 51,370,000円 (対象事業費) × 補助率 (1/3) = 17,123,000円 (千円未満切り捨て) ・介護施設等における看取り環境整備推進事業 (施設数) 1 施設 (上限額) 1 施設あたり 4,130,000円又は事業費【補助率10分の10】 					
別添資料	無 (一覧表/ 図面等)					
継続事業> 過去実績を検証して, 変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または, 継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						
市内事業所に対し, 補助制度の利用希望調査を行い実施。市内の介護基盤整備に必要な補助金であり, 介護施設を運営する法人からのニーズは高い。						

款	項	目	担当部局・課名			
3	1	3	福祉保健部高齢者福祉課			
事業区分		新規事業		政策 1 健康で安心感のある暮らし		
事業名		事業 (経費) 内の主たる費目	節名称	細節名称	予算額 (千円)	
外国人介護人材居住支援事業		事業 (経費) 内の主たる費目	① 負担金, 補助及び交付金	⑤ 補助金 (補助費)	5,000	
実施計画No,			②			
			③			
			④			
			⑤			
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) →		5,000	
該当ページ		92 / 頁	⑦ その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	
		93 / 頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		5,000	
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和 8 年度	5,000	0	0	0	0	5,000
(予定) 特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金					
事業内容及びその目的 (めざすもの)	介護事業所等における外国人材受け入れを支援するため、その受け入れ前後に係る生活環境整備を支援する。これまでの外国人介護人材確保支援事業 (受け入れ初年度に係る費用の補助) とあわせて総合的な介護人材確保対策に取り組み、安定的なサービスを提供できる体制の構築をめざす。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	○負担金, 補助及び交付金 (補助金 (補助費)) 5,000千円 <外国人介護人材居住支援事業補助金> 介護事業所における外国人介護人材受け入れ時の居住環境づくりを支援するため、その経費の一部を助成する。 【補助対象者】 外国人介護人材の受け入れを行った市内の介護事業所や介護保険施設を運営する法人 【補助金の額】 住居改修等 補助対象経費×補助率 (2/3) 施設整備等 補助対象経費×補助率 (2/3) 【補助上限額】 1 法人当たり事業所 2 か所分まで 住居改修等 1 事業所につき70万円まで 施設整備等 1 事業所につき30万円まで ※補助金の対象となる外国人介護人材とは、在留資格が「技能実習」又は「特定活動 (介護福祉士又は介護福祉士候補者として従事)」で、介護事業所等で雇用される予定の者					
別添資料	無 (一覧表/図面等)					
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						

款	項	目	担当部局・課名			
3	1	3	福祉保健部高齢者福祉課			
事業区分		継続事業 (拡充)		政策 1 健康で安心感のある暮らし		
事業名		節名称		細節名称		予算額 (千円)
外国人介護人材確保支援事業		① 負担金, 補助及び交付金		⑤ 補助金 (補助費)		2,200
		②				
		③				
		④				
		⑤				
実施計画No,						
* 三次市予算に関する説明書				⑥ (①~⑤の計) →		2,200
該当ページ		92 / 頁	⑦ その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	
		93 / 頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		2,200	
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和 8 年度	2,200	0	0	0	0	2,200
(予定) 特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金					
事業内容及びその目的 (めざすもの)	介護事業所等における外国人材受け入れ初年度に係る経費の一部を補助し、総合的な介護人材確保対策に取り組み、高齢者やその家族に対し安定的なサービスを提供できる体制の構築をめざす。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>○負担金, 補助及び交付金 (補助金 (補助費)) 2,200千円</p> <p><外国人介護人材確保支援事業補助金></p> <p>介護事業所等における外国人材受け入れを支援するため、その受け入れ経費の一部を助成する。</p> <p>【補助対象者】 外国人介護人材の受け入れを行った市内の介護事業所や介護保険施設を運営する法人</p> <p>【補助金の額】 技能実習 1人につき20万円 特定活動 (EPA) 1人につき10万円</p> <p>【補助上限額】 特定技能 1事業所当たり40万円まで 特定活動 (EPA) 1事業所当たり20万円まで</p> <p>※補助金の対象となる外国人介護人材とは、在留資格が、「技能実習」又は「特定活動 (介護福祉士又は介護福祉士候補者として従事)」で、介護事業所等で雇用されている者</p>					
別添資料	無					
(一覧表/図面等)						
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						
介護サービスの提供体制や地域で支え合う体制づくりのためには、制度を支える人材が欠かせないものであるため、安定的なサービス提供を支援する取組を継続して実施する。技能実習制度から育成就労制度へ移行する前に外国人を受け入れ、定着率を高める動きを促進するため、補助を拡大する。						

款	項	目	担当部局・課名			
3	1	3	福祉保健部高齢者福祉課			
事業区分		継続事業		政策 1 健康で安心感のある暮らし		
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)	
介護事業所人材育成等支援事業			① 負担金, 補助及び交付金 ⑤補助金 (補助費)		600	
実施計画No,			②			
			③			
			④			
* 三次市予算に関する説明書			⑤	⑥ (①~⑤の計) →	600	
該当ページ		92 / 頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →			
		93 / 頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		600	
歳入に関する項目	予算額 (千円)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
	⑧	国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和8年度	600	0	0	0	0	600
(予定) 特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金					
事業内容及びその目的 (めざすもの)	介護現場における職員の資格取得に係る費用の一部を補助し、介護人材の質の向上及び定着を図り、高齢者やその家族に対し安定的なサービスを提供できる体制の構築をめざす。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/ 状況写真/図 面等	<p>○負担金, 補助及び交付金 (補助金 (補助費)) 600千円</p> <p><介護事業所人材育成等支援事業補助金></p> <p>介護事業所等職員の資格取得に係る研修受講費用の一部を助成する。</p> <p>【補助金の額】</p> <p>研修受講費用 (受講料, 実習費及び研修に使用するテキスト代等) × 補助率 (1/2) ※⑤については全額</p> <p>【補助上限額】</p> <p>①~④ 1人当たり50,000円</p> <p>⑤ 1人当たり 2,000円</p> <p>【補助対象研修】</p> <p>①介護職員初任者研修 25,000円×2人 = 50,000円</p> <p>②介護職員実務者研修 34,000円×6人 = 204,000円</p> <p>③介護支援専門員実務研修 36,000円×5人 = 180,000円</p> <p>④認知症介護実践者研修 17,000円×8人 = 136,000円</p> <p>⑤認知症介護基礎研修 2,000円×15人 = 30,000円</p> <p>【補助対象者】</p> <p>市内介護事業所等で就労している個人又は市内介護事業所の運営法人</p>					
別添資料	無					
(一覧表/ 図面等)						
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						
介護サービスの提供体制や地域で支え合う体制づくりのためには、制度を支える人材が欠かせないものであるため、人材の育成と定着を支援する取組を継続して実施する。						

款	項	目				
3	1	8	担当部局・課名		福祉保健部高齢者福祉課	
事業区分		継続事業 (拡充)		政策 1 健康で安心感のある暮らし		
事業名			節名称	細節名称	予算額 (千円)	
福祉保健センター設備改修・修繕工事			①	工事請負費	①工事請負費	71,800
			②			
			③			
			④			
			⑤			
実施計画No,						
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) →			71,800
該当ページ			⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →			0
			⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →			71,800
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和 8 年度	71,800	0	0	66,800	0	5,000
(予定) 特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金					
事業内容及びその目的 (めざすもの)	市内福祉保健センター施設は、高齢者をはじめ市民福祉の向上と健康増進を図るための重要な施設である。しかしながら建築から30年以上が経過している施設も多く、老朽化により各設備の故障・修繕を繰り返しており、安全・快適な利用に支障が生じている。布野保健福祉センターについては、空調設備改修等を行い、利用者の利便性向上と施設の長寿命化及び機能向上を図る。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/ 状況写真/図面等	○工事請負費 (工事請負費) 71,800千円 ・布野保健福祉センター空調設備改修工事 66,800,000円 ・その他 設備修繕工事 5,000,000円 ※布野保健福祉センター施設概要 床面積 : 2248.59㎡ 改修床面積 : 1067.30㎡ 建築年月日 : 平成6年10月1日 構造主体 : 鉄筋コンクリート造					
	 <p style="text-align: center;">布野保健福祉センター</p>					
別添資料	無					
(一覧表/ 図面等)						
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						
必要性和優先度を見極めながら、予算の範囲内で随時改修又は修繕を実施し、利用者の利便性向上と施設の長寿命化及び機能向上を図る。布野保健福祉センターについては、空調設備の大規模な改修が必要となったため、事業費を大幅に増やし対応する。						

款	項	目					
4	1	2	担当部局・課名		福祉保健部健康推進課		
事業区分			継続事業		政策3 子どもの未来応援		
事業名			節名称	細節名称		予算額 (千円)	
ネウボラみよし事業			①	報酬	④会計年度任用職員報酬		5,058
			②	職員手当等	⑬一般職期末手当		1,054
			③	職員手当等	⑭勤勉手当		886
			④	旅費	①費用弁償		116
			⑤	委託料	①業務委託料 (物件費)		7,423
実施計画No,			34				
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) →			14,537	
該当ページ			120 / 頁		⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →		0
			123 / 頁		⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		14,537
歳入に関する項目	予算額 (千円)		特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
	⑧		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和8年度	14,537		7,415	3,846			3,276
(予定) 特定財源内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金		子ども・子育て支援交付金, 母子保健衛生補助金				
	県支出金		子ども・子育て支援交付金, ひろしま版ネウボラ構築事業補助金, 妊産婦支援事業緊急補助金				
	負担金						
事業内容及びその目的 (めざすもの)	妊娠前から子育て期にわたる切れ目のない支援や相談しやすい体制づくりに取り組み, 安心して子育てできる環境づくりを行う。						
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	母子保健指導員人件費 (助産師1名・看護師1名)		7,114千円 (通勤手当相当分費用弁償含む)				
	委託料 (業務委託料) 産後ケア事業		7,423千円				
	宿泊		35,000円×5回×12人		2,100,000 円		
	デイケア		18,000円×7回×11人		1,386,000 円		
	アウトリーチ		13,000円×5回×23人		1,495,000 円		
	支援の必要性の高い利用者の受け入れ加算		10,000円×144人		1,440,000 円		
	兄弟や生後4か月以降の児を受け入れる施設への加算		10,000円×69人		690,000 円		
	産後ケア (母乳育児相談) (訪問・受診)		3,500円×89件		311,500 円		
別添資料	無						
(一覧表/図面等)							
継続事業> 過去実績を検証して, 変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または, 継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)							
産後ケア事業を継続することで, 産後の心身の負担軽減をして, 安心して育児を行うことができるように取り組んでいる。利用ニーズもあり, 地域でも助産師, 保健師, 看護師等による子育て家庭への切れ目のない相談支援体制づくりが必要とされる。委託している助産師会への施設加算が組み込まれる。							

款	項	目	担当部局・課名																																	
4	1	2	福祉保健部健康推進課																																	
事業区分		継続事業		政策3 子どもの未来応援																																
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)																															
妊産婦健診助成事業			①	委託料	①業務委託料 (物件費)	27,033																														
			②	扶助費	①扶助費	538																														
			③																																	
			④																																	
実施計画No,		⑤																																		
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) →		27,571																															
該当ページ	122 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →			0																															
	123 /頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →			27,571																															
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)																														
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他																															
令和8年度	27,571					27,571																														
(予定) 特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称																																		
	国庫支出金																																			
	県支出金																																			
	負担金																																			
事業内容及びその目的 (めざすもの)	母子保健法第13条に基づき、妊娠中の母体と胎児の健康管理、疾患の早期発見・対応を目的とする。妊婦の定期健診 (14回)、各種検査、妊婦歯科健診の費用等を公費負担し、妊産婦の心身の健康管理と経済的負担の軽減を図る。																																			
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/ 状況写真/図 面等	委託料																																			
	<table border="0"> <tr> <td>妊婦一般健康診査4.5月</td> <td>6,590 円 ×</td> <td>516 件</td> <td>3,400,440 円</td> </tr> <tr> <td>妊婦一般健康診査6月以降</td> <td>6,880 円 ×</td> <td>2,584 件</td> <td>17,777,920 円</td> </tr> <tr> <td>妊婦検査</td> <td>12,610 円 ×</td> <td>280 件</td> <td>3,530,800 円</td> </tr> <tr> <td>助産施設健診</td> <td>4,490 円 ×</td> <td>10 件</td> <td>44,900 円</td> </tr> <tr> <td>クラミジア検査</td> <td>2,280 円 ×</td> <td>280 件</td> <td>638,400 円</td> </tr> <tr> <td>子宮頸がん検診</td> <td>3,200 円 ×</td> <td>280 件</td> <td>896,000 円</td> </tr> <tr> <td>妊婦歯科健診</td> <td>5,720 円 ×</td> <td>130 件</td> <td>743,600 円</td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td>27,032,060 円</td> </tr> </table>					妊婦一般健康診査4.5月	6,590 円 ×	516 件	3,400,440 円	妊婦一般健康診査6月以降	6,880 円 ×	2,584 件	17,777,920 円	妊婦検査	12,610 円 ×	280 件	3,530,800 円	助産施設健診	4,490 円 ×	10 件	44,900 円	クラミジア検査	2,280 円 ×	280 件	638,400 円	子宮頸がん検診	3,200 円 ×	280 件	896,000 円	妊婦歯科健診	5,720 円 ×	130 件	743,600 円			
妊婦一般健康診査4.5月	6,590 円 ×	516 件	3,400,440 円																																	
妊婦一般健康診査6月以降	6,880 円 ×	2,584 件	17,777,920 円																																	
妊婦検査	12,610 円 ×	280 件	3,530,800 円																																	
助産施設健診	4,490 円 ×	10 件	44,900 円																																	
クラミジア検査	2,280 円 ×	280 件	638,400 円																																	
子宮頸がん検診	3,200 円 ×	280 件	896,000 円																																	
妊婦歯科健診	5,720 円 ×	130 件	743,600 円																																	
			27,032,060 円																																	
別添資料 無 (一覧表/ 図面等)	扶助費 (県外受診等償還払い)																																			
	<table border="0"> <tr> <td>妊婦一般健康診査4.5月</td> <td>6,590 円 ×</td> <td>10 件</td> <td>65,900 円</td> </tr> <tr> <td>妊婦一般健康診査6月以降</td> <td>6,880 円 ×</td> <td>60 件</td> <td>412,800 円</td> </tr> <tr> <td>妊婦検査</td> <td>12,610 円 ×</td> <td>2 件</td> <td>25,220 円</td> </tr> <tr> <td>助産施設健診</td> <td>4,490 円 ×</td> <td>5 件</td> <td>22,450 円</td> </tr> <tr> <td>クラミジア検査</td> <td>2,280 円 ×</td> <td>2 件</td> <td>4,560 円</td> </tr> <tr> <td>子宮頸がん検診</td> <td>3,200 円 ×</td> <td>2 件</td> <td>6,400 円</td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td>537,330 円</td> </tr> </table>					妊婦一般健康診査4.5月	6,590 円 ×	10 件	65,900 円	妊婦一般健康診査6月以降	6,880 円 ×	60 件	412,800 円	妊婦検査	12,610 円 ×	2 件	25,220 円	助産施設健診	4,490 円 ×	5 件	22,450 円	クラミジア検査	2,280 円 ×	2 件	4,560 円	子宮頸がん検診	3,200 円 ×	2 件	6,400 円				537,330 円			
妊婦一般健康診査4.5月	6,590 円 ×	10 件	65,900 円																																	
妊婦一般健康診査6月以降	6,880 円 ×	60 件	412,800 円																																	
妊婦検査	12,610 円 ×	2 件	25,220 円																																	
助産施設健診	4,490 円 ×	5 件	22,450 円																																	
クラミジア検査	2,280 円 ×	2 件	4,560 円																																	
子宮頸がん検診	3,200 円 ×	2 件	6,400 円																																	
			537,330 円																																	
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)																																				
母子保健法に基づき自治体に実施・勸奨する検診。公費により経済負担を軽減し、安心な妊娠・出産に必要な医療サービスを受けられる環境が整えられている。妊婦の健康状態を把握し、産科医療機関と連携することで、産後うつ予防等の早期支援につなげられている。																																				

款	項	目	担当部局・課名			
4	1	2	福祉保健部健康推進課			
事業区分		継続事業		政策3 子どもの未来応援		
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)	
不妊検査・不妊治療・不育治療費助成事業			① 負担金, 補助及び交付金	⑤補助金 (補助費)	6,304	
実施計画No,			②			
			③			
			④			
* 三次市予算に関する説明書		⑤				
該当ページ		122 / 頁	⑥ (①~⑤の計) →		6,304	
		123 / 頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	
			⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		6,304	
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和8年度	6,304				6,300	4
(予定) 特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金	過疎地域持続的発展基金繰入金				
事業内容及びその目的 (めざすもの)	子どもを望む夫婦を応援するため、一般不妊治療、特定不妊治療、不育治療、先進医療等を受けている夫婦に対し、応援金を給付。 経済的負担軽減により安心して治療が受けられる環境を整備する。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/ 状況写真/図 面等	負担金, 補助及び交付金 6,304千円 不妊検査・一般不妊治療 50,000円×35件 1,750,000 円 特定不妊治療 50,000円×15件 750,000 円 特定不妊治療 (5万円) + 先進医療 (県助成控除後) 80,100円×40件 3,204,000 円 不育治療 50,000円×2件 100,000 円 先進医療等の併用により全額保険適用外となる検査・治療 100,000円×5件 500,000 円 <hr/> 6,304,000 円					
別添資料	無 (一覧表/ 図面等)					
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大き, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						
不妊治療の健康保険適用に伴い、自己負担額の軽減が図られたことから、令和6年度から定額助成とした。引き続き、妊娠を望む夫婦の経済的支援を継続する。						

款	項	目					
4	1	2	担当部局・課名		福祉保健部健康推進課		
事業区分		継続事業		政策3 子どもの未来応援			
事業名			節名称	細節名称	予算額 (千円)		
妊婦のための支援給付交付金事業			① 報酬	④会計年度任用職員報酬	1,847		
			② 職員手当等	⑬一般職期末手当	389		
			③ 職員手当等	⑭勤勉手当	327		
			④ 旅 費	①費用弁償	71		
			⑤ 負担金, 補助及び交付金	⑮補助金 (補助費)	28,500		
実施計画No,							
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) →			31,134	
該当ページ			⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →			184	
			⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →			31,318	
歳入に関する項目	予算額 (千円)		特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
	(⑧)		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和8年度	31,318		29,907	703		708	
(予定) 特定財源内訳	財源区分						
	国庫支出金	妊婦のための支援給付交付金					
	県支出金	妊婦のための支援給付交付金					
	負担金						
事業内容及びその目的 (めざすもの)	子ども・子育て支援法に基づき、妊婦・子育て家庭への伴走型相談支援と経済的支援の一体的実施により、全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てできる環境を整備する。 妊娠届出後 (5万円) , 出生届後 (5万円×児の数) の2回に分けて給付。						
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<ul style="list-style-type: none"> 給付事務担当職員人件費 (1名) 2,634千円 (通勤手当相当分費用弁償含む) 報酬1,847千円 一般職期末手当389千円 勤勉手当327千円 費用弁償71千円 補助金 妊婦のための支援給付 28,500千円 第1回 (妊娠届後) 50,000円×280件 = 14,000,000円 第2回 (出生届後) 50,000円×290件 = 14,500,000円 事務費 184千円 事務消耗品費50千円 通信運搬費 (決定通知) 110円×570通 = 62,700円≒63千円 振込手数料 123円×570件 = 70,110円≒71千円 						
別添資料	無 (一覧表/図面等)						
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)							
令和4年度補正予算から予算事業として実施されていた「出産・子育て応援交付金事業」が、令和7年度より子ども・子育て支援法に基づく法定事業として位置づけられており、今後も継続する。							